

# 第30回全国消防操法大会が開催 下郷町消防団が出場



令和6年10月12日(土)、第30回全国消防操法大会が、総務省消防庁及び日本消防協会の主催で、宮城県利府町にある宮城県総合運動公園グランド・21で開催

されました。この大会は、各都道府県の消防団の代表が一堂に会し、消防の基本となる「消防操法」の技術を競うべく2年に一度開催されるものですが、今年の大회는、ポンプ車の部24チーム、小型ポンプの部23チームが出場し、技術を競い合いました。

福島県からは、下郷町消防団が小型ポンプの部に出場、選手一丸となり健

闘し、上位チームに引けを取らない操法技術でしたが、残念ながらわずかの差で入賞を逃してしまいました。また、前日の激励交流会は、仙台市のホテルメトロポリタン仙台で開催され、池田達雄消防庁長官、国会議員等ご来賓、消防応援団の方々、消防関係者など約700名が参加し、意見交換等交流を深めました。多数のご来賓から激励メッセージをいただき、出場選手代表の決意表明も行われ、地域間の絆が深まるとともに、大会での健闘を誓い合いました。



編集者 福島市中町5番21号 福島県消防会館内  
公益財団法人 福島県消防協会  
印刷人 福島市南天野目字萩ノ目裏1-1 村山 広一  
電話(福島) (553) 4600

## 守りたい 未来があるから 火の用心

### 令和6年度全国統一防火標語



福島県消防協会公式HP <https://zfsk.or.jp>

### 大会結果

- ポンプ車の部 優勝 福岡県新宮町消防団
- 小型ポンプの部 優勝 岡山県高梁市消防団

### 知事表敬訪問



全国消防操法大会に先立ち、福島県代表の下郷町消防団が令和6年10月7日(月)に県庁を訪問し、内堀雅雄知事

### 第26回 全国女性消防操法大会 出場順決定

第26回全国女性消防操法大会が令和7年10月28日(火)に横浜市横浜赤レンガ倉庫イベント広場で開催されます。今回、福島支部福島市消防団の女性消防団員が本県代表として出場することとなっています。

出場順を決める抽選会は、令和7年2月28日に日本消防協会で行われ、福島県は第1コース20番に決定しました。



# 自治体消防75周年記念大会開催

令和6年11月29日(金)、自治体消防75周年記念大会が、天皇陛下のご臨席の下、令和6年8月に完成した新しい日本消防会館のニッショーホールで開催されました。日本消防協会と全国消防長会の主催で、全国から約700名が参加しました。

記念大会は、徳光和夫さんと平野啓子さんの司会により、第一部の記念式典では、秋本敏文日本消防協会長の式辞の後、天皇陛下からおことばを賜り

ました。続いて、内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官から祝辞が述べられました。その後、内閣総理大臣表彰などが行われ、総数88団体と1018家族3753名の各受賞者の代表が受領しました。

本県関係の受賞者は以下のとおりです。

## 日本消防協会会長表彰

### 永年勤続功労者表彰(5名)

金山町消防団 団長 鈴木 茂

相馬市消防団 団長 鎌田 重昭

南相馬市消防団 副団長 山際 一義

会津若松市消防団 団員 小山 利光

いわき市消防団 団員 永井 義信

消防団員家族表彰(20家族62名)



次に、第二部として記念講演及びシンポジウムが開かれました。



記念講演

では、神戸大学名誉教授の室崎益輝氏が「日本消防―これまでとこれから―」と題して、

東京大学大学院教授の鈴木淳氏が「日本消防の歴史」と題して講演しました。

最後のシンポジウムは、「これからの日本消防―さらなる変化への対応―」をテーマに、立谷秀清相馬市長をはじめとした5名のパネリストが、それぞれの立場で活発な意見交換がなされました。



# 令和6年度 消防団長等研修会



等研修会を開催しました。

初日は、椎名勉県消防保安課長から「消防団の充実強化について」の講話、

末永純一県危機管理課主幹から「福島県防災アプリについて」の説明、続いて、総務省消防庁消防団等充実強化アドバイザーの山本みゆき氏から「女性消防団員の活動事例」と題し講演をいただきました。山本氏は、令和2年3月まで茨城県阿見町消防団女性部部长として活動され、全国女性消防操法大会出場や応急手当講習会での指導、防災教育への取組など、大変参考になる話を語っていただきました。

終了後、福島県議会議員で構成する福島県消防協力議員会と参加者が一堂に会し、情報交換懇談会を開催しました。議員会の方々に



は、懇談会を通じて、消防団を取り巻く現状や課題などを理解いただき、消防団を中核とした地域の防災力の充実強化に向けて、支援・協力をお願いしました。翌日は、第30回全国消防操法大会アドバイザーの鈴木一弘氏から「全国消防操法大会に学ぶべきこと」と題し講演をいただきました。消防操法大会の在り方、訓練の進め方、審査員の感想など、有意義な話をアドバイザーの立場から語っていただきました。最後に、福島市消防団女性消防隊の宮村たま江隊長と嶋原彰子隊長から福島市消防団女性消防隊の活動を紹介していただきました。福島市消防団女性消防隊は、令和2年10月1日に本団付組織として発足、「花もも隊」を愛称にして地域や学校の防火・防災教育等で精力的に活動され、実演を交えてお話し

令和7年  
2月20日  
(木)・21日  
(金)の2日  
間、郡山市  
熱海町のホ  
テル華の湯  
で令和6年  
度消防団長



# 第77回日本消防協会定例表彰式

第77回日本消防協会定例表彰式は、令和7年3月7日(金)にニッショーホールで開催されました。

開会式の後、国歌斉唱、消防殉職者に対する黙とうが行われ、各種表彰が授与されました。

表彰されたのは、特別表彰「まとい」10団、特別功労章10名、表彰旗37団、竿頭綬89団、功績章873名、精績章2098名、勤続章9635名、優良女性消防隊表彰旗7隊、優良女性消防



隊員功績章7名、永年勤続職員表彰10名で、本県関係の受賞者等は次のとおりです。

- 表彰旗 三春町消防団
  - 竿頭綬 玉川村消防団 磐梯町消防団 広野町消防団
  - 功績章 32名
  - 精績章 77名
  - 勤続章 322名
- また、表彰式終了後講演会が開催され、「災害情報を防災に生かす」と題して、元NHK解説委員で国士館大学名誉教授

の山崎登氏から、災害情報に求められるわかりやすさや情報の活かし方などお話しいただきました。



## 令和6年度東北地区消防連絡協議会

青森県で開催



令和6年度東北地区消防連絡協議会が、令和6年11月13日(水)・14日(木)の2日間、青森市のホテル青森で開催され、東北6県及び



新潟県の各消防協会長、副会長、事務局長等が出席し、要望事項や協議事項について討議が行われました。第1日目の協議会では、消防殉職者等に対し黙とうを行った後、山形博利青森県消防協会長の挨拶に続き、青森県知事(代理) 泉危機管理(代理) 副市長、青森市長(代理) 副市長の来賓挨拶がありました。

議題の審議に入り、前年度決議された要望事項について、昨年度幹事県の秋田県消防協会から、日本消防協会へ要望書を提出した旨の処理報告がなされま



した。続いて、各県から提出された議題の討議が行われ、「地域貢献している消防団員の役割等に関する教育について」、「退職報奨金支給基準の勤務年数35年以上の新設について」の要望事項、「消防団員の報酬金額見直しについて」の協議事項について、活発な意見交換行われました。

審議が終了し、次年度の開催について開催順番表のとおり、新潟県で開催することを確認し、樋口茂吉新潟県消防協会長から挨拶がありました。第2日目は、視察研修として航空自衛隊三沢基地を訪れ、飛行場における大規模航空機火災への備え等を学びました。

# 第43回全国消防殉職者慰霊祭

日本消防協会主催、総務省消防庁後援による第43回全国消防殉職者慰霊祭は、令和6年10月3日(木)、ニッショーホールで全国の消防殉職者のご遺族をはじめ、消防関係者等が参列し執り行われました。

今年度は、新たに3柱の御霊が合祀

され、全国で殉職された御霊は5790柱となりました。

慰霊祭は、日本消防協会旗が入場し、開式の言葉に引き続き、秋本敏文日本消防協会長が御霊を奉納して、参列者全員で国歌斉唱と黙とうを行いました。



続いて、秋本会

長の式辞の後、来賓の石破茂内閣総理大臣、村上誠一郎総務大臣、遺族代表で高知県の田村利香様から追悼の言葉が述べられました。

その後、参列者が献花を行い、御霊のご冥福を祈りました。最後に、江戸消防記念会による鎮魂の歌(木遣り)及び秋本会長の挨拶で終了しました。

本県から参列されたご遺族代表は次のとおりです。

- 三浦 孝二様(郡山市)
- 丑木ケイ子様(会津若松市)
- 丑木 香織様(会津若松市)
- 山本 裕子様(喜多方市)
- 栗木 晶吉様(いわき市)
- 渡辺 悦子様(郡山市)



## 令和6年度 訓練指導員研修

令和6年10月7日(月)・8日(火)の2日間、令和6年度消防団訓練指導員研修を福島県消防学校で開催しました。研修には、県内24消防団から34名が参加しました。



消防学校講師によると「応急手当」として、シーツや衣類を用いた搬送用簡易タシカの扱い方、三角巾を用いた骨折時の固定方法などの指導を受けました。



第2日目は、県消防学校講師による「訓練礼式(実技)」が行われ、午後は、県消防学校講師による「消防団の事故対策」として、安全管理の意義、火災現場における安全管理の実践など、安全管理(事故防止)の重要性について講義を受けました。

次に、県消防学校講師による「現場指揮」として、現場指揮の重要性、指揮者の心構えや団員の安全確保について講義を受けました。

最後の閉講式では、西山敏彦県消防協会長が研修生一人一人に修了証書と訓練指導員章を授与し、最後に、総代を務めた会津若松市消防団の井上康弘分団長が挨拶を行いました。

全日程が終了しました。



第1日目は、開講式に引き続き、福島県消防協会事務局から県消防協会の事業等について説明があり、次に、福島県危機管理課から県防災アプリについて、開発した目的や主な機能などについて説明を受けました。

その後、県消防学校講師による「幹部の心得」の講義を受けました。

午後は、県消防学校講師による「訓練礼式(座学)」を受講し、次に、県

# 新日本消防会館完成記念 関連行事が開催されました

## 新会館完成報告会

令和6年10月3日(木)、新しいニッショーホールで全国の消防関係者多数参加の下、「ありがとう！新日本消防会館完成記念大会」が、新会館完成後初の公式行事として、盛大に開催されました。



大会は、秋本敏文日本消防協会長の挨拶、来賓挨拶があり、その後、武蔵村山市消防団の消防団ラッパの演奏、続いて消防の歌と題して、ゲストの水前寺清子さんが「消防団三百六十五歩のマーチ」を歌い、その他全国各地の消防団の歌が披露されました。次に、今回司会を務めた語り部の平野啓子さんの語り「稲むらの火」が披露されました。

最後に、新会館活用宣言が読み上げられ、大会は終了しました。



## 地域総参加の防災力向上大会



地域防災力の一層の充実強化を進めるため、「地域総参加の防災力向上大会」が、令和6年11月7日(木)にニッショーホールで全国の自主防災組織、女性防火クラブ、少年消防クラブ等の皆さんが多数参加し、開催されました。大会は、秋本敏文日本消防協会長の挨拶、来賓挨拶があり、その後、全国各地の様々な民間団体や地域コミュニティ団体の方々から、地域防災における活動事例の発表があり、「消防応援団」の平野啓子さんと山田邦子さんから激励の言葉をいただきました。続いて、「地域総参加の防災力向上について」と題し、シンポジウムが開かれ、秋本会長の進行でこのことについて専門的な研究、具体的な施策の実施に当たっている方々の意見交換が行われました。

## 消防職団員の集い



新しい日本消防会館を全国の消防団員、消防職員に見ていただくため、「消防職団員の集い(試行)」が、令和6年12月7日(土)にニッショーホールで開催されました。本県からは24名が参加しました。

集いは、秋本敏文日本消防協会長から新会館建設の経緯の説明があり、その後、日本消防防災情報センター展示映像を鑑賞しました。続いて、秋本会長からこれからの日本消防全体に関する会館運営の在り方等の報告がありました。また、参加者は自由に新会館内を視察することができ、本県からの参加者は、屋上の全国消防殉職者慰霊碑を参拝しました。最後は、全国から集まった参加者による意見交換会が開かれ、集いは終了しました。



(機器協会員)  
総合防災用品、NIKKI式消防車  
トーマツ消防ポンプ、キンバイホース  
NAホスボール



民間車検場  
**和田自動車株式会社**  
郡山市田村町金屋字孫右エ門平57番地  
〒963-0725 TEL. 024(943)3400(代)  
FAX 024(943)3873

(機器協会員)  
— 消防設備総合メンテナンス —  
キンバイホース・消火器・避難器具  
火災報知設備 スノーラップ  
その他消防用品一式



防災機器の御用命は  
**(有)東北防災センター**  
代表 夏井一樹  
本社 福島市入江町5-7  
☎024(634)3389・2540

(機器協会員)  
**ニッキ消防ポンプ**  
キンバイホース  
**東部産業株式会社自動車部**  
**シバウラ小型ポンプ**  
いわき市内郷綴町金谷15番地 4  
☎ 0246(26)5401  
代表取締役 菊池一隆

モリタ式消防ポンプ自動車  
シバウラ小型動力ポンプ  
消防用設備・設計施工・保守点検  
**株式会社 ホシノ**

会津若松市材木町  
一丁目10番22号  
☎会津若松(26)5600  
郡山支店  
(機器協会員)

消防団入団促進  
県内経済団体に協力要請



福島県と福島消防協会は、県内経済4団体を訪問し、事業所側の消防団員確保と消防団活動に対する一層の理解と協力を求める要請活動を行いました。

鈴木竜二県危機管理部長と西山敏彦県消防協会長は、令和6年10月23日(水)に福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県中小企業団体中央会、福島県経営者協会連合会を訪れ、要請書を手渡し、消防団への入団の働きかけや消防団活動がしやすい職場環境の整備をお願いし、会員への周知を依頼しました。

第40回防火ポスターコンクール

生活協同組合全日本消防人共済会では、毎年全国の小学生・中学生を対象とした防火ポスターコンクールを行っています。全日本消防人共済会で厳正な審査を行った結果、本県から推薦した南相馬市立鹿島小学校5年寺島遙希さんの作品が優秀賞に入選しました。福島県消防協会では、寺島さんが火事を減らしたいという気持ちで描いた

作品をポスターにして県内関係機関に配布しました。



西郷村消防団に消防車両を交付

日本消防協会では、消防団防災学習・災害活動車両交付事業として、防火防災学習や広報活動等に活用できる車両の交付を行っています。

この事業の活動車両は、平時は地域住民等に対する防災指導や防災学習に活用するとともに、災害時には人員輸送や資機材搬送などに使用できるものです。令和6年度は、西郷村消防団が車両の交付を受けました。

西郷村消防団の鈴木勝則団長は、「平常時は車両と一緒に交付された防災学習資機材を活用し、広報・予防啓発活動を行い、災害時には、指揮車として現場活動に活用していきたい」と村民の安全・安心を守るため、様々な場面での有効活用への期待を述べています。



消防川柳「Fire エール 五・七・五」入賞作品決定

仕事をもちながら自分たちの地域を守るため、日夜活動している福島県内の消防団員にエールを贈るとともに、消防団員の活動を広く福島県の人々にお知らせするために、ユーモアあふれる消防川柳「Fire エール 五・七・五」を募集したところ、148名の方から378作品が寄せられました。ご応募いただいた作品は、地域を守る消防団員への熱いメッセージとなっており、本当に多くの作品をお寄せいただきありがとうございます。入賞作品の選考会を開催し、次のとおり入賞作品が決まりました。



汗だくで  
火を消す父に  
金メダル  
喜多方市 夢酔酒之助 様



入団は  
地域を守る  
第一歩  
福島市 H・A 様

火事無くす  
決意とともに  
夜廻へ  
郡山市 ゆうぼう 様

団員の  
労苦に感謝  
ありがとう  
伊達市 K・M 様

出動だ  
帽子とる手に  
妻の顔  
いわき市 H・O 様

頑張って  
夜警に手を振る  
我が息子  
福島市 ちび太郎 様

過疎なれど  
半被の力  
町守る  
郡山市 K・Y 様

(機器協会員)  
〈総合防災〉  
消火器・シバウラ消防ポンプ・  
消防ホース・各種消防防災用品・  
火報設備・避難設備・消防設備  
保守点検設備  
**会星産業株式会社**  
白河市古高山3-138  
☎0248(22)5504

(機器協会員)  
**各種消防ポンプ自動車メーカー**  
**日本機械工業株式会社  
仙台営業所**  
仙台市青葉区一番町1丁目10番36号  
TEL 022-222-8831  
FAX 022-223-6660  
— 福島県下代理店 —  
東部産業(株)自動車部  
郡山市 (26) 5401  
和田自動車(株) 郡山市 (943) 3400

(機器協会員)  
**会津消防用品株式会社**  
会津若松市松町2-41  
☎会津若松 0245 5151  
消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ・  
消防ホース・消火器・防火衣・  
火災報知設備・積載車機装  
消防設備保守点検

(機器協会員)  
福島県知事許可  
総合防災設備設計・施工・  
保守点検・消防資材一式・  
他弱電工事  
**明和電気防災(株)**  
福島市上鳥渡沢沢22-3  
☎(024)593-2131

令和6年 秋の叙勲 (消防関係)

全国の受章者は、619名(瑞宝小  
綬章33名、旭日双光章4名、瑞宝双光  
章65名、瑞宝単光章517名)となっ  
ています。(発令6・11・3)  
福島県関係では、次の方々が受章さ  
れました。

●瑞宝双光章(1名)  
元三春町消防団 団長 橋本 善次

●瑞宝単光章(14名)  
元福島市消防団 分団長 阿部 正和

●元相馬市消防団 分団長 荒 雄一

●元会津若松市消防団 分団長 猪瀬 光吉

●元鏡石町消防団 団長 大河原正雄

●元昭和村消防団 分団長 菅家 敏章

●元国見町消防団 分団長 木村 正義

●元下郷町消防団 副分団長 小山 高行

●元福島市消防団 分団長 坂田 亜洋

●元郡山市消防団 副団長 白石 一美

●元白河市消防団 副団長 鈴木 正

●元郡山市消防団 副団長 田牧 浩

●元梁川町消防団 分団長 三浦 利夫

●元いわき市消防団 分団長 渡邊 精一

令和6年 秋の褒賞 (消防関係)

全国の受章者は、109名(紅綬褒  
章1名、黄綬褒章6名、藍綬褒章10  
2名)となっています。(発令6・  
11・3)  
福島県関係では、次の方々が受章さ  
れました。

●藍綬褒章(5名)  
現鮫川村消防団 副団長 赤坂 浩幸

●現天栄村消防団 副団長 金子 孝行

●現白河市消防団 副団長 近藤 信雄

●現会津若松市消防団 副団長 濱本 武嗣

●現三春町消防団 団長 村上 輝男

●元川内村消防団 分団長 渡邊 弘一

第43回 危険業務従事者叙勲 (消防関係)

全国の受章者は、637名(瑞宝双  
光章309名、瑞宝単光章328名)  
となっています。(発令6・11・3)  
福島県関係では、次の方々が受章さ  
れました。

●瑞宝双光章(6名)  
元相馬市地方広域市町村圏組合 消防司令長 遠藤 光美

●元郡山地方広域消防組合 消防司令長 大友 久男

●元双葉地方広域市町村圏組合 消防監 大和田 仁

●元いわき市 消防司令長 草野 俊夫

●元須賀川地方広域消防組合 消防監 西牧 完次

●元郡山地方広域消防組合 消防監 横山 幸浩

●瑞宝単光章(5名)  
元福島市 消防司令長 大波 健治

●元伊達地方消防組合 消防司令 大橋 順明

●元会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防司令長 齋藤 利衛

●元福島市 消防司令長 丹野 勝雄

●元喜多方地方広域市町村圏組合 消防司令 松崎 榮作

●元双葉地方広域市町村圏組合 消防監 大和田 仁

●元いわき市 消防司令長 草野 俊夫

●元須賀川地方広域消防組合 消防監 西牧 完次

●元郡山地方広域消防組合 消防監 横山 幸浩

●元須賀川地方広域消防組合 消防監 西牧 完次

●元郡山地方広域消防組合 消防監 横山 幸浩

●元須賀川地方広域消防組合 消防監 西牧 完次

消防個人年金  
消防員・消防職員だからこそ加入できる  
将来の自分のための積立年金制度です  
最長で70歳まで積み立てることができます  
お問い合わせ  
(公財)日本消防協会 年金共済部  
TEL 0120-658-494 <https://nissho.or.jp>

(機器協会員)  
福島日野自動車株式会社  
本社 郡山市安積町笹川字蜂田5番地1  
☎024-945-1665  
郡山支店 須賀川市茶畑町25番3  
☎0248-63-7070  
福島支店 福島市荒井北2丁目1-1  
☎024-593-0333  
いわき支店 いわき市小名浜高字渡地6番地1  
☎0246-58-8181  
会津営業所 会津若松市神前町大字北四合字横沼110-1  
☎0242-37-2233  
相双営業所 相馬市榎木字大園72番地5  
☎0244-36-0385  
白河支店 西白河郡泉崎村大字泉崎字中核工業団地311-1  
☎0248-54-1035

(機器協会員)  
総合消防設備  
消防備品、消防設備点検、防火対象物点検  
援護化学株式会社  
代表取締役 滝田 吉宏  
本社 郡山市図景1丁目17-24  
(024)932-0440(代)  
営業所 会津若松市建福寺前1-25  
(0242)27-1056

(機器協会員)  
ISUZU  
いすゞ自動車東北株式会社  
福島支社 福島市岡島字長岬6-7  
☎024(572)3663(代)  
福島支店 ☎024(572)6414(代)  
郡山支店 ☎0248(72)2020(代)  
いわき支店 ☎0246(58)4081(代)  
会津支店 ☎0242(24)3455(代)  
相双営業所 ☎0244(24)3255(代)  
本宮営業所 ☎0243(63)2660(代)  
白河営業所 ☎0248(22)7125(代)

(機器協会員)  
福島トヨタ  
自動車株式会社  
福島市太平寺字冲高25  
☎(024)54612000

(機器協会員)  
株式会社 甲成  
本社 / 〒971-8122  
福島県いわき市小名浜林城字塚前23-1  
TEL 0246-58-0047(代)  
FAX 0246-58-0080  
代表取締役 鈴木 庸平

(機器協会員)  
(有)渡辺鉄工消防用品  
トーハツ消防ポンプ  
モリタ式消防ポンプ車  
消防ホース・消火器  
ミヤス自動車消火装置  
避難器具・消防被服  
鉄骨火の見櫓・他消防用品一式  
田村市船引町北町通47  
☎(0247)820072

(機器協会員)  
安全と防災  
総合安全設備  
総合防災設備  
消防標識 防災用品  
カーブミラー 反射テープ加工  
道路安全用品 各種標識器  
各種作業服  
TOAN トーアン株式会社  
☎963-0215 郡山市待池台1丁目55-37 ☎024(936)2050(代)

(機器協会員)  
福島消防資材株式会社  
トーハツ消防ポンプ・モリタ式自  
動車ポンプ・ジェットホース・キ  
ンパイホース・消火器・避難器  
具・火災報知機・漏電警報機  
福島市五月町8-37  
☎(024)52115555

### 福島県消防団応援プロジェクト 「ふくしま消防団 サポート企業」 を募集中

福島県では地域の安全・安心な生活を支える消防団活動に対してサポートしていただける企業等を募集しています。

詳しくは福島県危機管理部消防保安課までお問い合わせください。

TEL：024-521-7190

FAX：024-521-9829

Mail：syoubou@

pref.fukushima.lg.jp



## 福島県消防協会の令和7年度事業計画・予算が決定

福島県消防協会の令和6年度第4回理事会が令和7年2月13日(木)に開催され、令和7年度事業計画・予算などが決定されました。

令和7年度事業計画・予算の概要は、次表のとおりです。

なお、令和7年度の事業計画・予算は、公式ホームページに掲載します。

### 令和7年度事業計画（主要行事）

4月24日(木)	県協会支部事務連絡会議	杉妻会館
6月7日(土)	令和7年度福島県消防殉職者等慰霊祭	殉職消防組員之碑(県消防学校内)
6月8日(日)	第78回福島県消防大会	バルセいいざか
9月11日(木)	第44回全国消防殉職者慰霊祭	東京都(ニッショーホール)
9月11日(木)	「地域防災 総合力の充実」大会	東京都(ニッショーホール)
10月	令和7年度消防団訓練指導員研修	未定
10月27日(月)	第26回全国女性消防操法大会激励交流会	神奈川県横浜市
10月28日(火)	第26回全国女性消防操法大会	神奈川県横浜市
11月	令和7年度女性消防団員等研修会	未定
11月13日(木)	第30回全国女性消防団員活性化長崎大会	長崎県長崎市
11月20日(木)～21日(金)	令和7年度東北地区消防連絡協議会	新潟県十日町市
2月	令和7年度団長等研修会	未定
3月6日(金)	第78回日本消防協会定例表彰式	東京都(ニッショーホール)

### 令和7年度予算概要

○収入の部 総額	39,049,000円
・公益目的事業会計	18,896,600円
主な内容 市町村負担金	15,772,100円
県補助金・日消防成金	2,100,000円
・収益事業会計(消防会館管理事業)	7,559,200円
主な内容 受取家賃	7,558,300円
・収益事業会計(共済事業)	9,640,200円
主な内容 日消事務費・助成金	9,640,000円
・収益事業会計(その他事業)	1,200,200円
・法人会計	1,752,800円
○支出の部 総額	42,242,400円
・公益目的事業会計	30,157,300円
・収益事業会計(消防会館管理事業)	4,720,800円
・収益事業会計(共済事業)	3,585,100円
・収益事業会計(その他事業)	1,331,700円
・法人会計	2,447,500円

消防人の  
**火災共済**

風水雪害等共済金  
補償倍率UP 300倍から**750倍**へ

消防団員・消防職員ならなちでも加入できます

まさかの時お役に立ちます。 地震等災害見舞金付

掛金25口、2,500円(56%以上の機額) 火災共済金375万円のお支払い **1500倍補償**

**B型火災共済** 消防団 消防本部 毎に皆で加入

掛金は、5口500円から5口毎、25口2,500円まで選択できます。

傷害の損害にも対応!! 建物と動産の配分は常に4:1とする契約となります。

お申し込みは、所属の消防団担当から都道府県支部(消防協会)へ。

(機器協会員)

トーハツ消防ポンプ 消防用金具  
モリタ式自動車ポンプ 消火器  
ジェットホース 避難器具・保護具  
消防被服 火災報知機  
その他消防用品一式

**(株) 磐水社**

本社 いわき市平字古鍛冶町4  
☎(0246)23-1616(代)  
FAX(0246)23-1979  
白河営業所 白河市字大鳥居橋前83-14  
☎(0248)23-3600  
FAX(0248)23-4134

(機器協会員)

普通免許対応車両総重量3.5未満  
CD-1型 ミラクルLight

ALTESIMO  
アルミ製蓄圧式  
粉末消火器

人と地球のいのちを守る

**MORITA**  
株式会社モリタ  
モリタ宮田工業株式会社

〒983-0043 仙台市宮城野区救野町3丁目8番55号  
仙台支店 TEL.022-238-6461  
東北営業部 TEL.022-238-4771

(機器協会員)

あらゆるパッチ  
盾・トロフィー  
すべての記念品

消防関係記章のご用命は  
当店にどうぞ

有限  
**美光**  
株式会社

福島市西中央三丁目26番地15号  
TEL(024)534-0255  
TEL(024)534-0255  
FAX(024)534-6657

モリタ式消防ポンプ自動車  
シバウラ小型動力ポンプ  
消防用設備・設計施工・保守点検

**郡山防災センター**  
(株式会社ホシノ郡山支店)

郡山市久留米三丁目27番地  
☎(024)945-8999(代表)